

て、やりたい人いませんかと、こういう計画でやりたいんだと、実はこういう制度があって、補助も受けられる、融資もオーケーですと。そういうふうな形でまず進めていきたいなと思っております。その際に、大切なことは、今の長井市では観光と物産というのは全く別なものになってるんですね。観光協会は観光だけ、地場産業振興センター等扱ってるものについては物産だけ、これはぜひ一体化をしていかなきゃいけないだろうなというふうに思っているところです。以上です。

○安部 隆委員長 3番、江口忠博委員。

○3番 江口忠博委員 ありがとうございます。きょうの総括では、私のこれから後に続く各委員の方々も、このかわと道の駅あるいは河川公園についての質問をされるようであります。私、今回かなりたくさん項目を準備してまいりましたが、ちょっと不慣れなもので申しわけなく思っておりますけども、全てにおいて、きちっとした質問もなかなかできなかつたような気がしております。

でも、今のこの1時間弱のことを振り返ってみますと、やはり民間の資本がこれからまちにどんなふうに、どういうことをきっかけにして流れていくか、投資されるかということも、どこかにきちんとイメージを持ちながら公共財としての資本的投資をしていかなきゃいけないということだと思っております。ですから、これからタウンマネージャーという言葉がいいのかわかりませんが、人材をつくっていかなきゃいけないということもおっしゃいました。これはこの2年間の未来塾の中で、どれだけの方々が成長されたかということとはなかなかわかりませんが、それも一つの投資だったんだろうなという気がいたします。

いずれにしても、これからの継続的な投資というのは、そんなに簡単なことじゃないだろうと思っております。いろんな国の制度を利用する

とおっしゃいますけれども、そうそう長井市ばかり国が目を向けてくれるわけではありませんで、そんなことも考えますと、それこそ行政と市民の方々が一体となった協働のまちづくりをこれからその名前のとおりにやっていかないと、なかなかうまく進まないだろうなと思います。

冒頭申し上げましたように、これからの市長が行われる意見交換会などにも、十分私は市長に期待するということがばかりではなくて、市民の方々からさまざまな意見が寄せられることを強く期待しているわけです。しばらくこの議論、きょう1日、あしたにかけて続くと思いますが、私もこの後聞かせていただいて、これは本当に今回の議会の天王山のような話なのかと、答弁、質疑なのかと思っておりますので、まずこれからもよろしく審議のほどお願い申し上げて、質問を終わります。ありがとうございます。

### 今泉春江委員の総括質疑

○安部 隆委員長 次に、順位2番、議席番号4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 日本共産党の今泉春江でございます。

まず、長井市再生整備事業、観光振興計画についてお伺いいたします。簡潔にお答えいただきたいと思っております。

市は、9月15日の市報と一緒に、あやめR e P oで長井市再生計画を全戸に配布いたしました。まず、確認したいのは、この文書は、今回問題となっている市の再生計画の全体像と見てよろしいのでしょうか、市長。

○安部 隆委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 お答えいたします。

全体像では決してございません。

○安部 隆委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 次に、お伺いします。

このように19億円もかけ、市の将来にも大きく影響する大規模な計画を立てる場合には、かなり慎重を期さなければならないと思いますが、いかがでしょうか、市長。

○安部 隆委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 そのとおりでございます。

○安部 隆委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 そこで、この計画では、企業城下町長井の繁栄と衰退という項目があります。活力を再び取り戻すとして3項目の具体化を掲げています。しかし、活力を取り戻すというなら、長井市がなぜ活力を失ったか、衰退したのかをよく分析しなければ有効な活力を生み出す方法も出てこないと思いますが、市長は、長井市の衰退の実態とその原因をどうとらえていますか、お聞かせください。

○安部 隆委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 複雑な、さまざまな要素が加わっておりますので、一言で申し上げる内容ではないというふうに思います。

○安部 隆委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 一言ではと今の答弁でしたけれども、このあやめR e P oに書いてあります長井の繁栄と衰退、これを市民にお示なさったわけですので、市民の方は、長井市の衰退というのは、これが原因だというふうに見るわけじゃないでしょうか。そして、私は、長井市の衰退という場合、ここにも書いてありますように、東芝系企業が衰退しただけではないと考えます。

私は、最も重大なのは農業の衰退ではないかと思えます。長井市は、農業で支えられてきたまちです。その農業を見ますと、長井市の農家世帯は、ピークだった53年の3,077世帯から現在、平成22年では1,410世帯と1,667世帯が減り、

ピーク時の半分以下に減っております。農家従事者は、ピークの昭和45年の9,669人から現在、平成22年で2,791人となり、5,593人、8割も減っています。このあやめR e P oでは、企業城下町、この東芝系の企業が3,000人の方が減っているというようなことが書かれていたと思えます。

そして、なぜ農家がこうなったのか。自然減少ではないと思えます。今まで工業が優先、農業切り捨ての政治がありました。自動車などの輸出のため、外国農産物を入れる極端な政策により、食料自給率は現在39%、辛うじて自給できるのは米だけで、しかもその米も輸入に押され、成り立たなくなっている現状です。

また、市の発展に重要な基盤となる人口はどうでしょうか。長井市の人口のピークは、終戦の直後、昭和22年の3万8,025人ですが、現在、平成22年は2万9,476人、8,549人も減っています。今はさらに減っていると思えます。この10年間を比べてみても、3万3,260人から2万9,476人と3,784人も減り、ついに3万人台を切りました。なぜ人口が減っているのでしょうか。一つは、人口の都会などへの流出があり、もう一つは少子化があると思えます。

少子化については、厚生労働省の発表がありますが、女性一人が一生に出産する子供の数が1.39人で、2011年に生まれた子供の人数は前年比2万606人減の105万698人で、過去最低を更新しています。これは15歳から49歳の女性人口が減ったためと、結婚件数が66万1,500件と過去最低だったことが上げられています。しかし、未婚者の9割が結婚を望んでおり、子供も2人から3人が欲しいという親が8割以上に上っています。なぜ結婚ができず、子供も産めないのでしょうか。

子育て世代の年間の可処分所得は、2000年からこの10年間で30歳から39歳で22万円、29歳以下は25万円と大幅に減少しています。若い人た

ちの3分の2、女性の半数以上が非正規雇用、賃金も手取り10万円や20万円では結婚もできず、子供も産めないという状況が進んでいるからです。

以上、長井市の衰退をめぐり、2つの点を見てきましたが、この現象は長井市だけではありません。日本全体に共通しています。一方では、大企業は収益を上げ続け、史上最高の260兆円もため込んでいます。こうなりますと、これは政治の問題となります。長井市を活性化するという場合、こういう全体をしっかりと見て計画をしなければならぬと思いますが、市長のお考えはどうでしょうか。

○安部 隆委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 お答えいたします。

今まで詳しく今泉委員からご講義をいただきましたけども、おっしゃるとおりだと思います。しかし、農業の問題にしても、あるいは少子化の問題にしても、長井市だけでは解決できることではないだろうと。国全体のありようによって、やはり私ども地方自治体もいろいろ規定されるわけがございますので、そういった意味では、いろんな事業を計画するとき、あるいは施策を議会のほうにも提案するときには、長井市の日本の中における立ち位置あるいは地方自治体としての今後の方向性などもいろいろ検討しながら、これは総合的な施策ですから、今回の都市再生整備計画なり観光振興計画とか、あるいは中心市街地活性化というのは、ほんの施策の一部でございます。当然それとは別に、福祉とか教育とか医療とか、そういったものはこれからも充実させていくわけがございます。しかし、一番大切な雇用、ここの部分については、製造業で一番雇用のいわゆる吸収力があるというのは、これからも多分余り変わらないだろうと。

その一方で、農業については非常に期待するところがございますが、こういうふうに農業が

機械化されて、なおかつさまざまな分野でどれぐらい収益を上げられるかというところがはっきり見えない状況の中では、新規農業者はこれからもどんどんふえていただきたいと思いますし、支援はしなきゃいけないと思いますが、製造業ほどのやっぱり雇用吸収というのはなかなか難しいんじゃないかなと思っております。

したがいまして、それ以外の例えば商業等のサービス、今こういった日本の場合ですと成熟社会に入っておりますので、サービス業の占める職の割合というのはどんどん高くなってまいりますので、そういったところも長井市として考えなければならぬだろうと、そのように思っております。ぜひ今泉委員からもいろいろご指導いただければ幸いです。

○安部 隆委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 それじゃあ、次に行きます。この活性化計画の見通しについてお伺いします。

計画の中心は花公園、かわと道の駅で、それに河川緑地公園、19億円の予算の15億3,700万円をこの3つの計画につぎ込むものです。このたびの補正予算も、このかわと道の駅と関連の河川緑地公園の調査設計委託料が提案されております。私は、この計画の見通しに大きな問題を感じます。第1に、今申し上げた市の活性化に逆行する政治経済・社会状態が現在も続いており、それどころか、もっと悪い方向に進んでいるからです。

東芝ライテックに見られるような雇用の減退と不安定化があります。社会保障の切り下げが一層ひどくなり、長井市でも国保税を17%も上げ、また引き上げなければならない状況とお聞きしました。その上、消費税10%の大増税が来ます。一昨日も、消費税増税実施を中止させる街頭署名を行いました。上げられたら困る、生活も大変という声が圧倒的でした。さらに、TPPが来たら、市民の暮らし、営業、地域経

済はどうなりますか。こんな状況の中で、花公園、かわと道の駅で長井市は活性化するのでしょうか。私は非常に疑問です。こういうときには、市が国の悪政から市民を守るため全力を挙げながら、何といたっても市民が最も願っていることの実現を軸に活性化を図るべきだと考えます。

一般質問でも、市の活性化につながっている住宅リフォーム補助やパークゴルフ場の利用例を挙げました。そして、福祉施設の増設や国保税の引き下げ、市税の滞納の相談収納なども提案しました。市民の懐から取り上げることがやめ、懐を温め、希望を持ってもらうことが本当の活性化の道だと思いますが、どうでしょうか。市長、お伺いいたします。

○安部 隆委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 お答えいたします。

今泉委員おっしゃることもごもっともでございますけれども、国の施策と、私ども地方自治体の施策はちょっと視点が違うだろうというふうにまず思います。解決すべき課題は、市民の皆様様の所得が少ないからどうにかしろというふうに市のほうでできるものではございません。したがって、国の経済政策、デフレをいかに回復して、先進諸国の中でも経済成長率が2%、3%なんていうのは低いほうなわけでありまして、やっぱりヨーロッパ、EUなんかも今は苦戦しておりますが、それなりに経済成長率にもつながるような経済施策をすべきであろうと。

あと職を失うということで、今まで働いていた、特に長井市は製造業で働いておられる方が多いわけですから、そこが例えば東芝ライテックさんに象徴されるように、工場が閉鎖されたり、あるいは仕事を縮小して、あるいは円高で利益を上げられないという状況の中では、やはりその円高の克服をどうするかといった部分が、国でこれは行うべき施策であって、私ども市町村でできる範囲はもちろん超えているわけ

ですから、ぜひそこは日本共産党の今泉委員にも頑張ってください、そういった国策をより国民生活が安定するような、そういった政治活動を行っていただきたいなと思います。

長井市としては、決して逆行するということではなくて、先ほど申し上げましたけども、第3次産業、サービス業の非常に幅広い中で、例えば今泉委員がおっしゃってる特老などの福祉施設で雇用をふやすということも、これは一つ大きな現在の要素でございますから、それはそれで長井市としても決して後ろ向きではない状況ですので、しかし、それだけでも雇用はまだまだ足りないわけですから、そういった意味で、かわと道の駅あるいは花公園、これは外からの観光客の方に利用していただいて、経済波及効果をより一層広げるとことはございますけれども、基本は市民の皆様あるいはこの周辺に住んでおられる方にやっぱり楽しんでいただくと、なおかつそういったことで県内にいらっしゃる4,000万人と言われる観光客の皆様にもご利用いただくことによって、長井市が、あるいは中心市街地が活性化するのではないかとということでございますので、ぜひご理解をいただきたいと思います。

○安部 隆委員長 ここで昼食のため暫時休憩いたします。再開は午後1時といたします。

午前11時59分 休憩

午後 1時00分 再開

○安部 隆委員長 休憩前に復し、午前に引き続き会議を再開いたします。

それでは、今泉春江委員の質疑を続行いたします。

4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 先ほどの午前中の市長の

答弁ですが、まずあやめR e P o、これが全体像ではないと話されましたが、再生計画の全体像でないとするれば、市民にこれをお示したにもかかわらず、これが全体像でなければ、市民はこれを見て、このあやめR e P oがこれからの長井市の全体像と、皆さん、そういうふうに見ております。全体像でなければ、何がそのほかにあるのでしょうか。どのようなものがあるか、お答え願いたいと思います。

○安部 隆委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 お答えいたします。

全体像というのは、例えば製造業をどうするのか、農業をどうするのか、あるいは福祉をどうするのか、教育をどうするのか、そういった全てのことが今まで長井市がほかの市町村とか、あるいはいろんな事情があってできなかった、弱かった部分、これを改善していくというのが長井市全体の再生像でありまして、これが中心市街地の再生ということでの一部でございますので、そういった意味で、全体ではございませんというふうに申し上げたところです。

○安部 隆委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 中心市街地の再生ということで、長井市の再生とここに大きく出ております。今、市長は、中心市街地の再生とおっしゃいましたけども、長井市の再生とこのように大きくお書きになってるんでは、ちょっとおかしいんじゃないですか。

○安部 隆委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 あやめR e P oにつきましては連載物でございますので、全体像を最初に示すというやり方もあるんでしょうけども、相当膨大な資料になります。長井市の再生で、まず中心市街地から始まるって書いてないですか。書いてないでしょうか。そういったことで私は、中心市街地、今回のあやめR e P oが全体像じゃないということは、これよく読んでいただくとわかるというふうに思ってます。

○安部 隆委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 確かに中心市街地活性化から動き出す長井市の再生となっております。それでは、まずこのあやめR e P o、中心市街地活性化から動き出す。じゃあ、この後、福祉、教育、子育て、そういうものも市民の皆様方に長井市再生ということで示すのでしょうか。

○安部 隆委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 方向がちょっと変わってきたとは思いますが、私が申し上げてるのは、例えば前回のあやめR e P oは介護保険のことでございました。そういったことで、一つ一つ市民の皆様長井市の全体の施策について詳しく、しかも非常に行政といいますか、制度というのは複雑で、なかなかわかりません。財政なんか本当に難しい、専門用語などあって、わかりません。ですから、そういったところを少しずつ紹介するのがあやめR e P oでございまして、施政方針をあやめR e P oで申し上げてるのではなく、詳しいところは施政方針で申し上げてるわけですね。ですから、そこは今泉委員もご存じだと思うんですね。私は、言われてる意味がわかりません。長井市の再生って、これですか。それは施政方針で上げてるじゃないですか。ですから、私が申し上げてることは、あくまでも一部であって、あやめR e P oは、その都度その都度そのときの施策について必要と思われるものを詳しく紹介するという内容で、全部紹介するなんていうことでは、ちょっと紙面上も難しいと思います。

○安部 隆委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 それでは、具体的には今お答えいただけなかったんですけども、先ほどの質問の中で、見通しということで市長は、地方自治体は国の視点とは違うとおっしゃいました。しかし、国の大きな政治とのかかわりがなければ、地方自治体の方向というものもないんじゃないかと思います。地方自治体の方向とい

うものは、大きく国の政治とかかわって動いているんじゃないかと思います。これから、先ほども申しましたように、消費税、それからTPP、社会保障切り下げなど、無関係に計画は進んでいかないかと思えます。市民に大きく影響することが予想されます。市民との関連を明らかにして、どう乗り越えるのか。この道の駅、かわの駅、花公園、長井市の再生ということで、どう乗り越えるのか、その見通しをお聞きしたいと思えます。

○安部 隆委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 国の施策で例えば消費税とか、先ほど冒頭におっしゃいました農政の状況とか、それにももちろん私も長井市民の皆様も国の政策でいろんな生活が影響されると思えます。しかし、国の政策とは違って、私もは国の政策の部分で権限のない部分ってたくさんあるわけですよ。国で決められた制度で、それを長井市でこういうふうにしてくださいと、法令で定められた部分をやるわけです、国が消費税を上げたものに対して、じゃあ消費税、長井市は反対だから長井市だけしないなんていうことはできないわけですし、ですから、それは国の施策によって市民生活も影響されますよ。でも、私も長井市が国に対して、その対応に対してどうのこうのって言うのは、基本的にはできないですよ。むしろ今の結局国の施策でできない部分を逆に少し単独事業で、お金もかかるんですけど、厚く福祉をしようとか教育を考えていこうとか、そういうことはできますよ。国の施策にのっとって長井市はどうするんですかと、それにどういうふうに対応するんですかと言われると、なかなかやっぱりおっしゃってる意味が私にはよくわかりません。以上です。

○安部 隆委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 私の申しておりますことは、今この計画があるわけですよ。この後、消費税が10%とかになったときに、果たしてこ

れから何年計画かですしていくわけですから、その後も、これができた後も消費税やTPPが来るわけですよ。そういう見通しも、そういうことも考えて事業を計画なさっているのですかということをお尋ねしてるんであって、消費税を長井市だけしないとか、そういうことでなくて、長井市もそういうものに、市民の生活に大きくかかわってくるわけです。ですから、そういうことがかかわってくるのと同時に、この計画の見通しが、そういうものも考えて見通しを立ててらっしゃるのでしょうかということですよ。

○安部 隆委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 お答えいたします。

消費税10%上がるということは、どういうふうな課税の免除の部分があるかどうかわかりませんが、基本的には全国一律なわけですから、長井市だけの問題ではありませんので、特に想定しておりません。

あとTPPについては、どうなるかわからない状況ですし、実際我々地方自治体でさえ市民生活にどう影響が加わってくるのか、あるいは行政運営上、TPPがどのような悪影響あるいは好影響なのかわかりませんが、そういったところはまだ明らかにされていないわけです。ですから、全く今回の計画については、その2点について、その影響を考えているものではありません。

○安部 隆委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 じゃあ、今、市長おっしゃったように、その影響は考えてないということでもよろしいんですね、今の段階では考えてないということ。

○安部 隆委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 そのとおりです。特にTPPと消費税を考えて、この事業をどうのこうのということは考えてございません。全ての行政運営にかかわってくることだと思っております。この事

業だけの問題ではないというふうに思っています。

○安部 隆委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 市長から、いろいろと答弁いただきました。ですが、今の答弁で私は納得できるものではありません。強く見直しを求めます。以上でこちを終わります。

次の質問に移ります。次の質問ですが、東芝ライテック問題について伺います。

一般質問でもお伺いいたしましたが、先日、私たち共産党は飯豊町に行って、町の対応を聞きながら幾つかの提案もしてまいりました。

そこで、伺いますが、市は、当初、工場撤退の撤回を掲げて要請してきたはずです。先日、市長と議長が本社社長と面会し、要請したことを新聞で知りましたが、要請の内容と会社の対応について要点を簡単にお聞かせください。

○安部 隆委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 お答えいたします。

市議会のほうからも、議員の皆様からいろいろご提言いただきましたので、やはり私と議長が行ってないと、ぜひお願いに行くべきだということがまず第1点。

あと第2点目といたしましては、その後、東芝ライテック本社から取締役総務部長が数回、私も面談しております。その中で、改めて私どもが当初、副市長と副議長が飯豊町の町長、議長と一緒にお願いした中身については、まず不可能であるというようなことから、それでは、何とか栃木工場に行けない人のために、雇用をしっかりと守っていただくような手だてをとってほしいということをお願いし、具体的に幾つかの提案をしておりました。そういったことを改めてお願いしてきたところでございます。

○安部 隆委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 具体的な提案というのもお聞かせいただければ、よろしくお願ひします。

○安部 隆委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 お答えいたします。

具体的な提案というのは、実際何名の方が鹿沼のほうに行かれて、何名の方が長井市にとどまっていたのか、ちょっとよくわかりませんが、しかし、少なからずの方がやっぱりいろんな事情で行けない人もいらっしゃるだろうと。そんなことで、ライテックとLDFに勤めている長井市の市民の皆様が残った方に対して再就職先を一生懸命あつせんなさっていただいているんですけども、なかなか今、置賜の有効求人倍率が非常に低い状況でございますので、製造業そのものがやっぱり置賜は、むしろ雇用よりも雇用調整に入っていると、数百名の希望退職をお願いしてるような状況ですので、なかなか難しいと、再就職先をほかの会社をお願いするのは、ですから、それを例えばまず第1点目としては、東芝ライテックがここの工場がなくなったとしても、新たな現地法人を残った人のためにつくっていただいて、そこに東芝ライテック等の下請の仕事を出してもらえないかということが第1点。

第2点目は、現地法人をつくるのが難しいとしたら、長井市とか、この周辺の製造業のところにその方たちを再雇用いただいて、そのかわりライテックの下請の仕事を出してもらおうと。そういったことで雇用と、あるいは受注を守っていただくというようなことが第2点目。

第3点目は、それがさらに東芝ライテックだけではなくて、東芝グループ全体で何とかそういった受注をしていただけるような道を再度探っていたきたいと。それに対して私ども市は、あるいは県も協力いただいて、設備投資に対するいろいろな固定資産税の何年間の免除であったり雇用の奨励金であったり、さまざまな設備投資に対する支援を一緒になってやっていきたいと。ですから、ぜひご検討いただきたいということをお願いしてまいりました。以上です。

○安部 隆委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 まず、この件で大事なこ

とは、東芝ライテックは従業員に対してではなく、長井市の関連企業も含め、長井市の雇用と経済に重大な影響を及ぼし、市の税収にも大きく影響するという事です。この点で、会社には社会的責任があります。会社の一方的な都合で、「会社さえよければ後はどうなってもよい」では済まされない責任があると思います。

ところで、この東芝ライテック工場がなくなった場合、市の税収にはどれだけ影響いたしますか。

○安部 隆委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 お答えいたします。

具体的な数字につきましては、今、資料を持ち合わせておりませんが、法人税、本社は神奈川でございますけれども、平等割とか、そういった部分がございます。それから、固定資産税、これはそのまま工場がある以上は市としていただくわけでございますけれども、そういった法人市民税の部分については、金額的にはちょっと確認しないとわかりません。もし必要でしたら、ちょっと休憩をいただいて調べてまいりたいと思います。それと、あとは一番大きいのは、従業員の皆様の所得税、市民税等々というふうに思っております。以上です。

○安部 隆委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 できれば後で結構ですので、資料をいただければと思います。

そういうこともありまして、市として工場移転を撤回させるために粘り強く要請に行くことが大事だと思いますが、この間の社長との面談では撤回ということは申し上げなかったのでしょうか、ちょっとお聞きします。

○安部 隆委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 お答えいたします。

その前に、先ほどの資料についてですが、企業の税金といいますか、どのぐらいの税収に影響があるかというのをちょっと情報として、資料としてお出しすることは適切ではないという

ふうに判断させていただきたいと思います。大体どのぐらいということは、一般的な例えば工場とか支社とか営業所のあるところについてはどのぐらいということは申し上げられるんですが、東芝ライテックの長井工場でどのぐらい払ってるんだということは、ちょっと個人情報でございますので、そこについては少し資料を検討させていただいて、後ほどお求めの資料をどこまで出せるか、税務課のほうと検討して提出させていただきたいと思います。

お答えの部分でございますが、この間、21日の午前中でございますが、蒲生議長と一緒に、また山形県の置賜総合支庁の産業経済部長の丸山部長と3名、それから担当主幹と4名で行って来たところでございますが、まず再三にわたって取締役総務部長とは何度も私はお話しておりますので、具体的な提案もしておりますので、撤回してくださいということは今回は申し上げてきておりません。これは私が行きましたら、その事情をとうとうと10数分にわたって、東芝ライテックの状況あるいは東芝の置かれてる状況等々お話がありましたので、これはもう既に飯豊町の町長の皆さんと一緒に副市長、それから副議長がお願いしておりますので、今回は具体的な提案を持っていったということでございます。

○安部 隆委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 しかし、今回の本社訪問もそうですが、その際、私が一般質問でも触れましたが、東芝ライテックは3月期決算では黒字を出していること、それから長井工場は閉鎖が発表されても仕事が減るどころか、とても忙しくなってきたということ。それから、会社は資本金が100億円という大企業であること、それから鹿沼に移るということは、鹿沼というところは大地震圏内の場所でもあり、そして長井市というのは地震被害の比較的少ないところでもありますので、長井工場を維持したほう

が会社のためにはよいのではないかなどを上げながら、東芝ライテックの社会的責任を果たすよう強く求めていくことが大切と思いますが、いかがでしょうか。

○安部 隆委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 一般質問でも申し上げましたけれども、東芝ライテックさんが国、県とか、そういう公的団体であれば、これは当然そういったことを求めていかなきゃいけないと。しかし、一般企業といえども、今泉委員おっしゃるように社会的責任というのは大きいものがあると思います。ですから、そこで働いておられる従業員の方が100名も超えるということは、会社そのものは形態が株主とか個人所有であっても、その生産施設というのは社会的な部分、公的な性格を持つてるといことはおっしゃるとおりですけれども、しかし、今、私たちの社会は資本主義社会でありますので、それを私ども行政がお願いすることはできますけれども、それ以上立ち入ることはなかなか実質的には難しいだろうというふうに思っております。

ですから、むしろそういうふうに反対反対と言うよりは、少しでもこちらに残る社員の皆さんのために実現可能な政策を探っていくというのが私は地元の自治体として重要なことだろうと。それで反対運動を起こして撤回してもらえらんだら、可能性が高かったらいいです。その可能性がどのくらいあるかといったら、これは限りなくゼロに近いだろうと。ゼロではないかもしれませんが、しかし、限りなくゼロに近いと私は判断しております。したがって、そこに全力を尽くすよりも、少しでも地元の従業員の方が働く場を見つけることができる、そして生活が安定することができる、そういった施策をお願いしていくのが私は自治体の役割であろうと、そのように思っています。

○安部 隆委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 確かに撤退ということに

なれば、行けない人もいるわけですから、市長のおっしゃるように、要請した内容のように、やっぱり行けない方、地元に残る方のために働く場を残してほしいという従業員の、職員の方の大半がそういうふうに希望しておりますので、そういうことも非常に大切なわけですが、でも、まだ具体的には何人が行けて、何人が行けないのかとか、そういう労働組合の話し合いで、まだ具体的にはなっていないわけです。ですから、やっぱり可能性のある、今、長井市、飯豊町、県が連携して、一緒になって運動するということが大事です。もちろん長井市、飯豊町、県の方と本社を訪問なさったわけですから、この連携ということがとても大事だと思います。

しかし、県の動き、例えば知事が動くことなどの役割などは、すごく大きいと思います。そして、経済産業省や政党への要請なども有効ではないかと思います。私たち共産党は、県委員会に県知事への要請、また党中央に国会議員が会社に出向いて交渉、国会でも取り上げるように要請いたしました。大変深刻な問題ですので、このような政治的な方法で、また解雇などで違法があった場合、法的な対処、そして何よりも市も含めた地域ぐるみの運動で会社に社会的責任を果たさせていくことが大事だと思います。いかがでしょうか。

○安部 隆委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 お答えいたします。

今泉委員がおっしゃった運動は大切かもしれませんが、私ども長井市として、いろんな手だてでは考えなきゃいけません、運動というものはやはり本来行政がやるべきことではなくて、労働組合あるいは関係する人たちが頑張っていてやっただく。それを私ども行政が何かお手伝いできることがあったらということでの運動は、行政としてもする必要があるかもしれませんが。しかし、繰り返すようですが、相手は国とか県ではございませんので、民間の企業、

幾ら大企業といえども民間企業ですので、そこはやっぱり自治体としての運動の限度があるだろうと。今泉委員がおっしゃるように、例えば日本共産党で長井市支部から上がった、そういった要望に対して政党が動いていただけるというのは大変ありがたいことだとは思いますが、その政党と一緒に自治体が運動を行うということは、また違う役割だと思っております。

○安部 隆委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 運動というよりも協働というか、一緒に頑張ろうと。最後までやっぱり一緒に頑張らしましょうと。可能性のあるものは連携して闘うという言葉はちょっとあれですけども、一緒に交渉しましょうという意味で申し上げたんですけども、単なる政治運動とか、そういうものではなく、市民の生活を守るために、自治体として最後まで市民のために頑張ることが大切ではないでしょうか。いろいろ市長から答弁をお聞きしましたが、この問題はこれからが正念場じゃないかと思えます。私は、撤回のために最後まで全力を市は挙げてほしいと思えます。

じゃあ、次の最後の質問に参ります。一般質問で市庁舎の暑さ対策を申し上げました。きょうあたりは涼しいというか、かえって寒いような感じで、何かほっとしたというか、あの暑さはどこへ行ってしまったのかと、本当に不思議なような気がいたします。市長は、答弁で1億円ぐらいかかると、すぐには対処できないと答弁されました。しかし、去年も一昨年も、毎年暑さは何か厳しくなってるように思えます。ことしのような状態が引き続き起こるということは大変問題であり、やっぱり優先的に職員の健康、また効率的な仕事をする環境を整えるということは非常に大事ではないでしょうか。市長、いかがでしょうか。

○安部 隆委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 一般質問でもお答えいたしまし

たように、委員おっしゃるように、非常に重要な課題だというふうに思っております。

○安部 隆委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 重要だということは市長もお考えになってるわけですので、ぜひ重要であれば優先的に取り組んでいただきたいと思います。いかがでしょうか。

○安部 隆委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 これも一般質問でお答えいたしましたように、確かに額が1億円以上かかりそうということもございますが、一般質問でも申しましたように、21年、22年に多くの議員の皆さんから、やはり非効率ではないかと、精神論だけではだめだろうというようなご指摘などもいただいて検討したわけでございますけれども、まず一つは、ようやく財政のほうが先の見通しが立ったということで、具体的に検討しなきゃいけないというふうに思っておりました。ただし、昨年の大震災で節電あるいはエアコンを我慢するという全国的な風潮があったわけですね。もう1年たつと日本人は忘れてしまうんですが、そういった状況の中で、果たして24年度にやっていいものだろうかという迷いはございました。状況を少し見ようと。

そのため、ことし、まず本庁の耐震調査をもう既に発注済みでございますけども、それを行いながら、果たしてこの建物がどのぐらいもつのかという中で、やっぱり設備投資も考えていきたいと思っております。それと、本庁舎はそういうことで進めておりますが、第2庁舎については、耐震調査をするまでもない非常に危険な建物というふうに思われますので、これは一刻も早く新たな対策を考えていかなきゃいけないというふうに思っております。

ただし、庁舎に関することについては、基本的に補助が全くないということ、それから自前の準備しなきゃいけないお金が比率が高いということから、やはり先ほど来都市再生整備計画

の中で莫大な公共投資というお話がございましたけども、庁舎を、エアコンぐらいですと1億円で済みますけども、いろいろ考えますと、大変多額の金額が必要となります。加えて文化会館をどうするのか、あるいは老朽化した学校給食共同調理場をどうするのかと、そういったことがたくさんありますので、そこについてはやはり計画を具体的にことしから来年にかけて、2年ぐらいかけながら庁舎とか公共事業の内容についても第5次総合計画にきちとうたえるように検討しなきゃいけないというふうに思っているところです。

○安部 隆委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 検討するとおっしゃっていますが、やっぱり確かに第2庁舎は老朽化して、いつどうなるか。やはり市民の方も、あそこにお邪魔するわけですよね。そうすると、もちろん耐震調査するまでもなく、本当に危険なというか、そういうような建物に思えます。私も感じます。そして、それだからといって新しい庁舎を建てかえるというところまではいかないと、莫大なお金がかかると。それでは、いつまでもああいうところで職員の方がお仕事をなさって、いつになるかわからない、見通しもわからないようなことでよろしいのでしょうか。

本当にあの状態でお仕事をなさっているということは、外で仕事をなさってるのなら、こういう状態だということはあるんですけど、うちの中で仕事をなさってるのに、あのような状態で、そして2年ぐらいの間に検討なさるとおっしゃいましたけども、この議場も、一般質問のあたりはすごい暑さでした。やはりこのようなことで優先的に、かわの駅、道の駅、長井市再生も大事ですが、もっと先にしなければならないことというのがこのようにたくさんあるのではないのでしょうか。

私は、やはりこういう足元からというか、今まで職員も本当に長井市のために我慢して努力

なさってきました。5億幾らの黒字も出ました。やはりここで職員のためにも、しっかりと仕事ができる環境をつくってあげるべきだと思います。強くそれを私は優先的に取り組んでほしいと思います。大変なところから着手すべきだと思います。

そして、私、暑さ対策ということで一般質問では市民への冷水機と申し上げました。しかし、涼しくなりました。もちろん夏の冷水機は必要かと思います。しかし、これから涼しくなり、寒くなり、お茶などの機器なども置いてはどうかなと考えますけれども、市長、いかがでしょうか。最後に一言お願いいたします。

○安部 隆委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 お答え、一言ということですが、やはりいろんな公共事業というのは性格がありますので、全部同じような性格のものじゃないということだけのご理解いただきたいと思います。庁舎と、例えば病院だって耐震化になってないです。文化会館も耐震化になってないです。ちょっと違うでしょう、性格がということをおわかりいただきたい。

あと、かわと道の駅が常に引き合いに出されますけども、あそこはいろんな目的があるわけです。農業振興であったり、あるいは地産地消であったり、ですから、一概に公共事業どうのこうのとおっしゃる前に、きちんと役割分担を考えてやってるんだということをぜひご理解いただきたいと思います。

ご質問の冷水機については、ぜひ検討しますというふうに答弁させていただきましたけれども、お茶についても、自動のそういうお茶のものですと、よく例えば高速道路のパーキングエリア、サービスエリアに自動のやつがありますよね。冬、ああいったものなどを置くことは、検討することもよろしいんじゃないかなと思いますので、担当課と相談した上で、いろいろ今後検討したいと思います。

○安部 隆委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 最後一言とお願いしたところでしたけども、そのお茶セットなんですけども、簡単な、お医者さんなどでも置いてあるような、ああいうものでも結構じゃないかと思えます。お医者さんの待合室なんかでも置いてありますよね、冷水機と同じような大きさで。あのようなものでも市民に対しては十分なおもてなしじゃないかなと思えます。ぜひそのところの検討をよろしくお願いします。暑さ対策、本当に大変なところから着手していただきたいと思えます。

以上をもちまして私の総括質疑を終わらせていただきます。ありがとうございます。

### 我妻 昇委員の総括質疑

○安部 隆委員長 次に、順位3番、議席番号7番、我妻 昇委員。

○7番 我妻 昇委員 よろしくお願ひいたします。先ほども「ぼくらの文楽」の話がちょっと出ましたけれども、私も、きのう、1日目は参加できなかったんですが、2日目であるきのうはスタッフ、実行委員として参加させていただきました。きのうも夜中というか、夜まで手伝ってきたものですから、あちこち筋肉痛のような状態になっています。きょうも、彼らは、この雨の中、かっぱ着て撤去作業をしてるんだろうなと思うと、事故がないといいなというふうに思っております。

「ぼくらの文楽」で、いろんな都会から、あるいは県内の遠いところからも来た方と、足湯というところで、いろんな触れ合いをさせていただきました。本当に長井市はいいところだなというふうにおっしゃっていただきました。今回初めて来た、来年も来るよという方、また

去年も、ことしも来てますと、また来ますという方、まずとにかくいいところだなというふうにおっしゃっていただく、これが本当に私も参加してよかったなど、収穫を得たところがございます。ぜひそういった長井市のファンというんでしょうか、長井市はいいところだなというふうに思ってくれて、しかも遠いところからわざわざここに来てくれる方が一人でも多くなればいいなというふうに願ひながら、質問をさせていただきます。

まず、第1点目ですが、観光振興計画について伺います。

7億3,000万円をかけ、新たに花公園を建設するよりも、あやめ公園を通年型に整備すべきではないかということで、質問事項に具体的に質問を上げてしまったんで、何も脚色するところもないわけですが、30分もかからないで終わってしまうのもなんなものですから、ぜひじっくり答弁していただきたいと思ひますが、いつも簡潔になどと申しておりますけれども、きょうは、なるべく議論を深めたいなというふうに思っている次第です。

あやめ公園が通年型でないということですよ。1カ月です。あれを、1カ月ありませんよね、実質来る方は。有料期間というのは、ほんの2週間がいいところでしょうか。以前はもっとあったのかもしれませんが、ここの花の時期もずれてきたということもあって。これを通年型にすればいいのになというふうな話は昔からありましたよね。あのハーブガーデンがはやるのころ、ハーブを植えたらいいんじゃないかとか、アヤメ以外にも、いろんな花があるだろうと。あるいはテーマパークなど、いろんなことがありましたので、あやめ公園にこれからは力を入れていくんだろうなというふうに私なりに将来考えていたわけです。

多分そういった議論が今後出てくるだろうなと思ったところ、この観光振興計画、素案の状